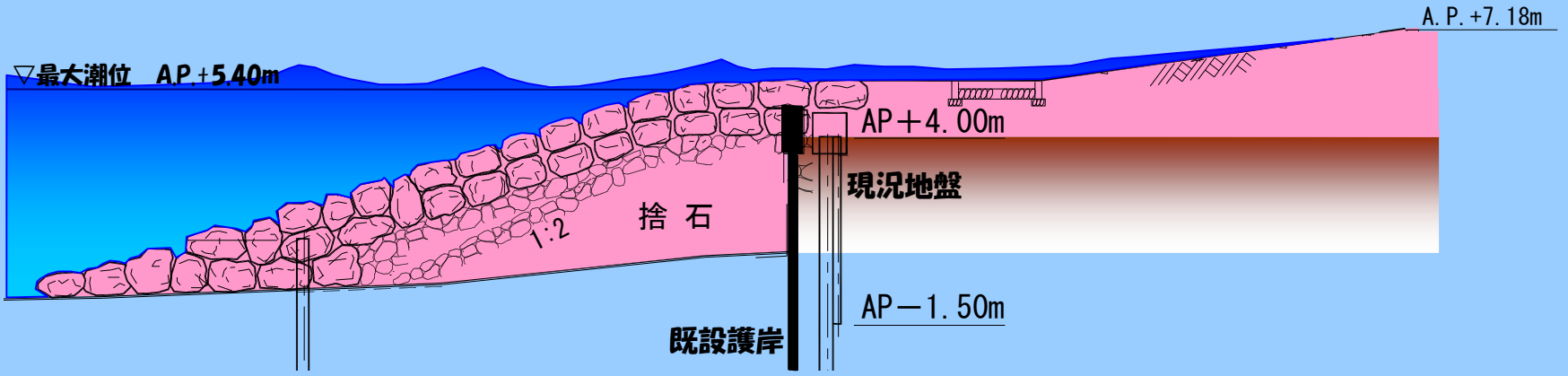


塩浜2丁目護岸のモニタリング調査結果の報告

< 防 護 >



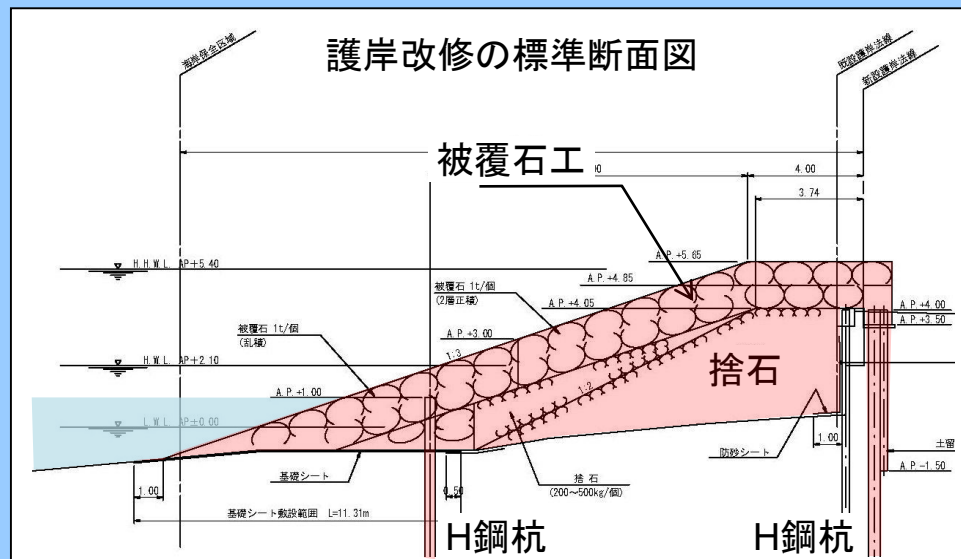
令和 4年 6月

1. 塩浜2丁目の工事の実施状況

塩浜2丁目護岸は、老朽化の著しい900m区間の護岸整備を先行して進め、H25年度に完了しました。

平成27年度から、残りの200m区間の整備に着手し、令和3年度に全て完了しました。

<u>H18年度</u>	900m区間の護岸整備着手
<u>H25年度</u>	〃 整備完了
<u>H27年度</u>	200m区間の護岸整備着手
<u>R3年度</u>	〃 整備完了



2. 塩浜2丁目護岸の整備完了後の現地状況



3. 塩浜2丁目の“防護”に関する検証・評価

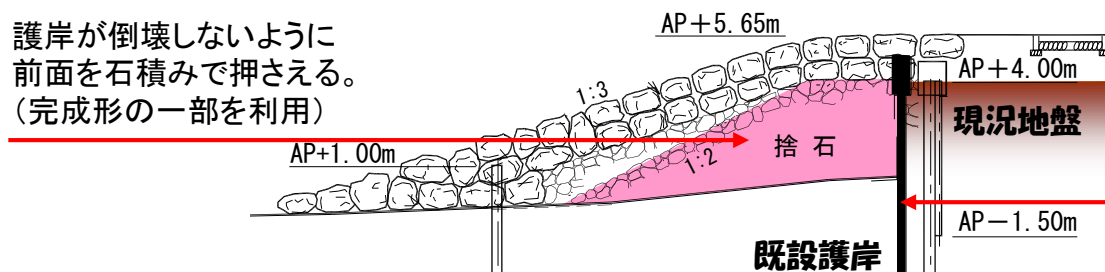
(1) “防護”に対する4つの指標

(平成26年度第4回護岸整備懇談会(平成27年1月30日開催)で設定)

① “緊急対応”への指標 : 既設護岸の補強に必要な石積が確保されたか。

【目的】老朽化した現在の護岸の倒壊防止を図る。

護岸が倒壊しないように
前面を石積みで押さえる。
(完成形の一部を利用)

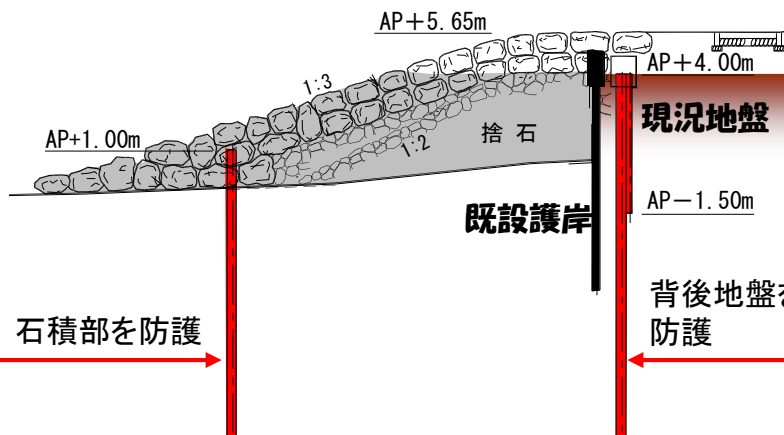


老朽化が著しい
現況の護岸の
倒壊を防止

② “耐震”への指標 : H鋼杭(海側、陸側)が打設されたか。

【目的】・震度5強の地震時にも石積部が保たれるようH鋼杭を設置する。

・ “ ” 背後地盤が “ ” 。



震度5強の地震時にも
石積部が保たれるよう
H鋼杭を設置する

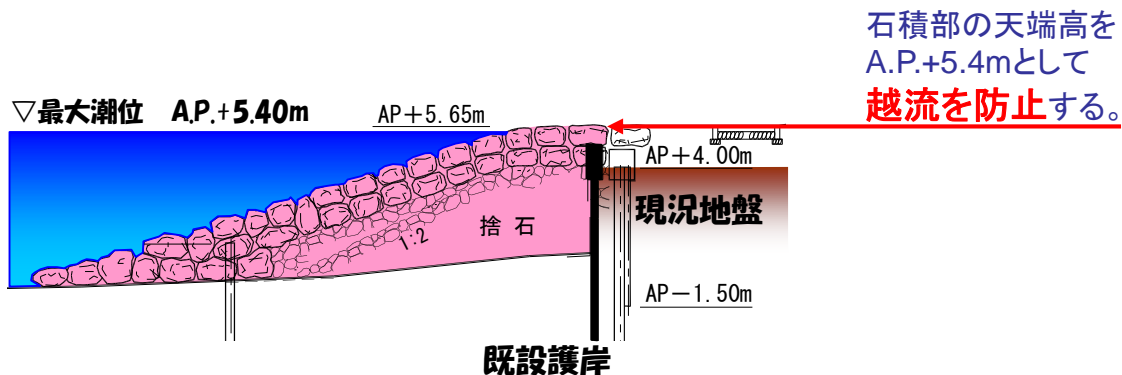
石積部を防護

背後地盤を
防護

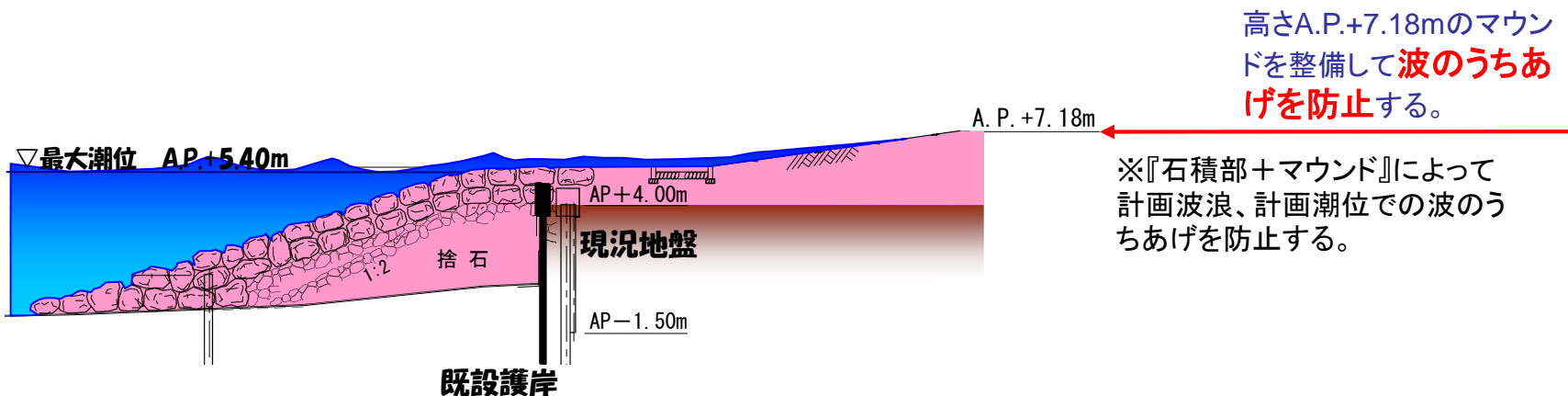
震度5強の地震時にも
背後地盤が保たれるよう
H鋼杭を設置する

(1) “防護”に対する4つの指標

- ③ 最大潮位での”越流防止”への指標 : 石積堤の高さがA.P.+5.4mに達しているか。
【目的】最大潮位(A.P.+5.4m)でも越流しない高さの護岸とする。



- ④ ”高潮災害防止”への指標 : 背後地のマウンド高さがA.P.+7.18mに達しているか。
【目的】高潮時にも波が背後地に及ばないようA.P.+7.18mの高さの
マウンドを護岸背後に整備する。



※『石積部+マウンド』によって
計画波浪、計画潮位での波の
うちあげを防止する。

(2) 塩浜2丁目護岸の“防護”の検証・評価

目標達成
基準

高潮等の災害から背後地の安全を早期に確保すること。



全体延長(900m区間(897m)+200m区間(183.4m)=1080.4m)に
対する達成率を算出し検証

検証

- ① “緊急対応”への指標 ⇒ 99%
- ② “耐震”への指標 ⇒ 100%
- ③ “越流防止”への指標 ⇒ 99%
- ④ “高潮災害防止”への指標 ⇒ 背後のまちづくり計画と調整

- ・②耐震は完了した。
- ・①緊急対応と③越流防止は塩浜3丁目との擦り付け部(約10m)を除き完了した。
- ・④高潮災害防止は背後のまちづくり計画が今後予定されている範囲を除き完了した。



防護の
評価

地域の防護を早期に図る **目標達成基準は概ね達成**された。

ただ、高潮災害に対する地域の安全を確保するため、早期に背後のまちづくり計画と調整を進める必要がある。